

あけましておめでとうございます  
 本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます

今年<sup>きのとみ</sup>は乙巳年です。巳年は蛇が脱皮することから、変化の年と言われます。歴史の中で大きな変化があったのは、今をさかのぼること1380年(干支が一巡する60年×23回)の645年、中臣鎌足、中大兄皇子らによる乙巳<sup>いっし</sup>の変に始まり、国家の改革を進めた大化の改新です。中学生ならだれでも知っている歴史的な出来事です。

私が中学生の時には「大化の改新、蘇我氏はかわいそうと645」と覚えたものです。当時は、このように人や出来事の名まえ、年号をおぼえることに重きが置かれていましたが、今の学習は、なぜその出来事が起こったのか、どんな背景があったのか、ほかの出来事との違いはどこだろう、などと考えていくことが重視されます。いろいろな人の立場で歴史を見ていくことで、未来へ向けて社会の成長を考えていけるようになることをめざします。歴史の学習だけではなく、ほかの教科も同様で、知識の量そのものよりも、蓄えた知識をいかに活用するのか、そして、そのことによってよりよい人生やよりよい社会を作る力を育てる学習活動をめざしています。

本校でも、未来に向けて力を付ける教育活動に取り組んでいますが、本年も、小学校と連携して、なお一層推進していきたいと思っています。

さて、年末から正門のところに立派な門松を飾っています。小中がいっしょになったお祝いにと市内の方から贈られたものです。門松は、幸福が訪ね入る際の目印だと言われます。今年一年の児童生徒の健康と成長という幸福が、南花台中学校・つばめの学校に来てくれることと思います。よい年になるよう、教職員一同精進してまいりますので、保護者、地域のみなさまのご支援とご協力を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



校長 上代 婦美子



校長先生からのメッセージでも紹介されている市内の方から贈られた立派な門松



暑い日も寒い日も学校にきれいなお花を植えてくださっている「花植え隊」の皆さんへのお礼に、手作りのバラをプレゼント!



南花台中学校の生徒はとても優秀です。税の作文展・税の書道展。B1、ふるさと作文コンクール・健全育成会主催の標語など様々なコンクールや作品展に応募して素晴らしい賞を受賞しています。